

2024年1月改訂(第1版)

日本標準商品分類番号

873133

貯法：室温保存

有効期間：3年

パンテチン製剤

承認番号 30200AMX00733

販売開始 1984年8月

パンテチン錠 100mg「シオエ」



Pantethine Tablets 100mg “SIOE”

3. 組成・性状

3.1 組成

販売名	パンテチン錠 100mg「シオエ」
有効成分	1錠中 日本薬局方パンテチン ^{注)} 125mg (パンテチンとして 100mg) 注) 日本薬局方 パンテチン：パンテチン 80%を含む水溶液
添加剤	乳糖水和物、軽質無水ケイ酸、カルメロース カルシウム、ステアリン酸マグネシウム、 ヒプロメロース、ヒドロキシプロピルセル ロース、酸化チタン、タルク、黄色4号(タート ラジン)、黄色5号、青色1号

3.2 製剤の性状

販売名	パンテチン錠 100mg「シオエ」		
性状	黄色のフィルムコーティング錠である。		
外形	表	裏	側面
			
大きさ	直径：9.1mm、厚さ：4.0mm、重量：225mg		
識別コード	◎301		

4. 効能又は効果

- (1) パントテン酸欠乏症の予防および治療
 - (2) パントテン酸の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦など)
 - (3) 下記疾患のうち、パントテン酸の欠乏または代謝障害が関与すると推定される場合
 - ・高脂血症
 - ・弛緩性便秘
 - ・ストレプトマイシンおよびカナマイシンによる副作用の予防および治療
 - ・急・慢性湿疹
 - ・血液疾患の血小板数ならびに出血傾向の改善
- なお、(3)の適応に対して、効果が無いのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

6. 用法及び用量

通常、成人にはパンテチンとして1日30～180mg、血液疾患、弛緩性便秘には1日300～600mgを1～3回に分けて経口投与する。高脂血症には1日600mgを3回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	0.1～5%未満	0.1%未満	頻度不明
消化器	下痢・軟便	腹部膨満、嘔吐	食欲不振

注) 発現頻度は文献集計に基づく。

14. 適用上の注意

14.1 薬剤交付時の注意

PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することがある。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

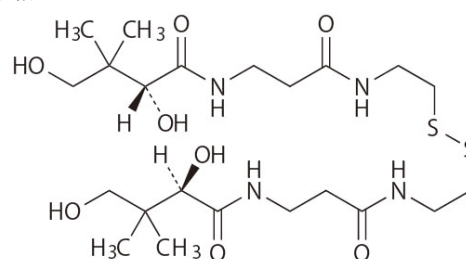
パンテチンは、pantothenic acid にβ-mercaptopethylamine が結合した pantetheine の disulfide 型で、pantothenic acid よりも CoA に近い前駆物質である¹⁾。

19. 有効成分に関する理化学的知見

一般的名称：パンテチン (Pantethine)

化学名：Bis(2- {3-[(2*R*)-2,4-dihydroxy-3,3-dimethylbutanoylamino]propanoylamino} ethyl)disulfide

化学構造式：



分子式：C₂₂H₄₂N₄O₈S₂

分子量：554.72

性状：無色～微黄色澄明の粘性の液である。水、メタノール又はエタノール(95)と混和する。光によって分解する。

20. 取扱い上の注意

PTP包装品は外箱開封後、バラ包装品はアルミ袋開封後、湿気を避けて遮光して保存すること。

22. 包装

1,000錠 [10錠 (PTP) × 100]

23. 主要文献

1) 第十八改正日本薬局方解説書 廣川書店、2021：C-4206 - C-4210

24. 文献請求先及び問い合わせ先

シオエ製薬株式会社 製品情報担当
〒661-0976
兵庫県尼崎市潮江3丁目1番11号
TEL 06 (6470) 2102
FAX 06 (6499) 8132

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

シオエ製薬株式会社

兵庫県尼崎市潮江3丁目1番11号

26.2 販売

日本新薬株式会社

京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14